



2019年3月30日(土)
小野薬品工業株式会社
特定非営利活動法人
スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構

《イベントレポート》

子ども達の心身健やかなカラダづくり応援プロジェクト「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」

しおたれいこ そとむらてつや ふくだまさひろ
**潮田玲子、外村哲也、福田正博らゲストアスリートが
「スポーツやカラダを動かす楽しさ」を伝える！**

「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」キックオフイベント開催



小野薬品工業株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長 相良 暁)と特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(事務局:神戸市 代表理事:氏家 啓喜)は、東北3県の復興支援活動の一環として、子ども達の心身健やかなカラダづくりを応援するプロジェクト「すこやかカラダ大作戦」を開催しています。5年目となる2019年は「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」と題し、本日3月30日(土)に宮城県東松島市で、プロジェクトのキックオフイベントを開催しました。

岩手・宮城・福島は東北3県は小児肥満の傾向が全国の中でも高く※、小児肥満の改善が課題となっています。「すこやかカラダ大作戦」は、その課題解消に向け、ゲストアスリートと共に「スポーツやカラダを動かす楽しさ」を子ども達に伝え、継続的な運動を促進していくイベントです。※参考:4頁<参考資料>

当日は、東松島市の小学校低学年の子ども達95人が参加しました。ゲストアスリートとして、ロンドン五輪バドミントン混合ダブルス日本代表の潮田 玲子さん、北京五輪トランポリン日本代表の外村 哲也さん、元サッカー日本代表で、サッカーの普及活動や解説などで活躍する福田 正博さんが参加しました。イベントの始めのアスリートによるパフォーマンス披露では、潮田さんとサポートスタッフ井上選手とのラリーやジャンピングスマッシュが華麗に披露され、その速さに一同が驚きました。井上選手のジャンピングスマッシュの打ち返しに果敢に挑戦する子ども達もおり、あと一步で打ち返せそうな子どもに対し、観戦している子ども達は「がんばれ！」「おいしい！」といった声を上げていました。サッカーでは福田さんの豪快なシュートとサポートスタッフのMaruco.(マルコ)さんの巧みなリフティングなどのパフォーマンスも。子ども達の挑戦では、福田さんの「シュートしたい人ー？」の声に子ども達の「はいー！(シュートしたい)」という元気な声が鳴りやまないほどでした。そして、トランポリンでは外村さんの得意技である約8m(ビル3階分)の高さもある3回宙返り、サポートスタッフとのシンクロナイズドといったハイレベルなパフォーマンスを間近で見た子ども達は、その演技にくぎ付けでした。

3種目のスポーツレクリエーションでは、子ども達がゲストアスリートとともに競技を体験。バドミントンでは、最初はラケットを使わずにシャトルを手で拾い、ネットの向こう側に投げる練習を行い、どちらのチームが多くのシャトルを投げられるかの勝負をしました。潮田さんは子ども達にラケットの持ち方や構え方をレクチャーしました。子ども達は「(持ち方、構え方)あってる？」と潮田さんに聞く様子が見られました。ゲストパフォーマンスでは、「すごい！速い！」と言っていたスマッシュに子ども達も挑戦。潮田さんが高く投げたシャトルをスマッシュで懸命に打ち返していました。床に置いたシャトルケースにシャトルを当てた子どもに潮田さんも「ナイスショット～！」と声を上げていました。

サッカーでは、チームに分かれてミニゲームを実施。試合中の子ども達には、コート外の子ども達が「がんばーれ！がんばーれ！」と元気よく応援していました。笑顔で練習していた子ども達も試合中は真剣になって、サッカーに熱中していました。試合中転んでしまった子も、すぐに立ち上がり「勝つぞ！」と声を張り上げ、ボールを追いかけていました。ゴールを決めた子どもは、「ヤッター！」とチームのもとに戻り、サポートスタッフやチームメンバーとハイタッチする姿も。レクリエーションの終わりには福田さんは子ども達に「サッカー好きな人、続けてください！」と声をかけていました。

トランポリンでは、外村選手とサポートスタッフの木幡さんが手取り足取り飛び方を教え、初めて体験する子ども達も大きなトランポリンの上で大きなジャンプをしながら「すこやかカラダポーズ」をする等、どんどん新しいことを吸収していました。「難しい〜！」という声もすぐさま無くなり、「楽しい！もっとやりたい！」といった声が上がっていました。

スポーツレクリエーション後、子ども達はゲストアスリートに興味津々で、質問コーナーでは「質問ある人ー？」の問いに、次々と元気な手が挙がりました。潮田さんへは、「どうやったらサーブが上手くなるの？」、「メダルは何個取ったの？」といった質問に対して、「何回も繰り返して練習することが大事！バックハンドサーブならうちのなかでもできるよ！」、「小学生の時からだから100個、200個はあるよ！」と回答。福田さんへは、「ボールを上げてシュートするのはどうするの？」という質問に対して、「とにかく、たくさん練習してください。そのためには、しっかりごはんを食べてたくさん寝て体力をつけることが大切！」と笑顔で答えました。そして外村さんには、「三回宙返りはどうやるの？」という質問があり、「こんな上手な選手になりたいといったイメージを思い浮かべて練習することが大切！三回宙返りするにはまず、二回宙返りを上手くならないといけないし、二回宙返りを上手くなるためには一回宙返りを上手くならないといけない」と子ども達のキラキラした目を見て、まっすぐに答えていました。

イベントの最後に行われたミニ運動会では、チーム対抗の「玉入れ」で子ども達とゲストアスリートが参加。チームごとに作戦会議をして、「がんばるぞー！」と円陣を組み、みんなで玉を籠に向かって投げ入れ、カウントの時にはみんなでワクワク結果を見守り、チームでの一体感が生まれていました。

昼食時には、保護者向けに生活習慣病に関する専門医(東北大学医学系研究科 藤原 幾磨教授)による健康セミナーも開催されました。セミナーでは、簡単に出来る子どもたちの健康習慣の改善に関するアドバイスが行われ、熱心に講義に耳を傾ける参加者の姿がありました。また、食育の一環として地元の高砂味噌などを使った温かいとん汁の炊き出しを行い、こちらも人気となっていました。

雪がちらつく寒い1日だったにも関わらず、朝から元気な子ども達の声やアスリートの掛け声、笑顔に溢れ、会場内はその寒さを吹き飛ばす盛り上がりを見せました。本日開催した「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」のキックオフイベントが、子ども達だけでなく、その保護者や地域の指導者の方々にとっても、生活習慣の意識向上のきっかけになったと思います。なお、「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」では引き続き、6月まで計4回の事後プログラムを開催予定です。

<「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」開催概要>

正式名称	: 「すこやかカラダ大作戦 in みやぎ」キックオフイベント
日時	: 2019年3月30日(土) 10:00~14:30
会場	: 東松島市民体育館 (宮城県東松島市小松字上浮足164)
出席者	: 小野薬品工業株式会社 取締役 専務執行役員/業務本部長 佐野 敬(さの けい) 東松島市長 渥美 巖(あつみ いわお) 東松島市 教育委員会教育長 工藤 昌明(くどう まさあき)
ゲストアスリート	: 潮田 玲子(バドミントン/元オリンピック日本代表) 外村 哲也(トランポリン/元オリンピック日本代表) 福田 正博(サッカー/元Jリーガー、元日本代表) ほか
イベント内容	: 10:00~ 開会、主催者挨拶、ゲスト挨拶 10:20~ ゲストパフォーマンス 11:00~ スポーツレクリエーション① 11:30~ 記念撮影 11:50~ 昼食、地元食材を使った炊き出し 12:30~ 保護者向け健康セミナー 13:00~ スポーツレクリエーション② 13:30~ スポーツレクリエーション③ 14:00~ ミニ運動会(玉入れ) 14:30 終了

《《事後プログラムについて》》

3月30日(土)のキックオフイベントを皮切りに、本イベント参加者を対象に、継続的にスポーツや運動をする楽しさを伝え、運動習慣の定着を目指し、下記の通り、事後プログラムを実施します。

事後プログラム	: 4月13日(土)・20日(土) / 運動会に向けて「走り方のコツ」を伝授！ : 5月11日(土) / パラ競技を体験しよう！ : 6月15日(土) / ボールゲームの基本を学ぼう！
会場	: 東松島市民体育館(宮城県東松島市小松字上浮足164)

当日のイベントの様子



参加者のコメント

潮田 玲子さん

みんながニコニコしてバドミントンに取り組んでくれたので嬉しかったです！スポーツじゃなくてもいいので、夢に向かって頑張ってください。アスリートのみんなすごかったですよ？いっぱい練習してすごく上手になったので、みんなも負けないように頑張ってください！

福田 正博さん

自分の良いと思う人の真似をしたり、良いものを見たりしてみてください。仲間と乗り越え、自分の好きなことに向かって情熱を傾けていってください！これからもその笑顔をお忘れず楽しんでください。今日はありがとうございました！

外村 哲也さん

みんなと今日一緒にトランポリンができて楽しかったです！心のパワーがあれば夢を叶えられます。オリンピックにも出られます！トランポリンじゃなくても、スポーツでなくてもいい、どんな夢でもいいです。心のパワーを持って、みんなの夢を叶えてください！



小野薬品工業株式会社 取締役 専務執行役員 / 業務本部長 佐野 敬(さの けい)

東日本大震災以降、何か役に立てることはないかとずっと考えていました。震災の影響で子ども達の運動環境が変わったことによって、肥満傾向の子どもが増加しているというのを聞き、そうした課題を解決するためにも、子ども達に運動することの楽しさを覚えてもらうとともに、保護者の方に食生活を見直してもらえればと考え、このすこやかカラダ大作戦を実施させていただくことになりました。今後も東北に住む子ども達に運動する機会を継続的に提供していきたいと思っております。



東松島市長 瀧美 慶(あつみ いわお)氏

今回のすこやかカラダ大作戦の企画にとっても感謝しています。なぜなら、子ども達に夢と希望を与える絶好の機会だからです。2020年には東京オリンピックがありますが、聖火がギリシャから一番最初に来るのが東松島です。今回の企画以降も、スポーツに関心を持ってもらい、汗をながしてもらいたいです。東松島も被災地のひとつですが、笑顔を持って一体となって、健康づくりに励んでほしいと思います。今日は子ども達にとっては初めて体験する種目ばかりで、子ども達のキラキラした目を見て非常に嬉しく思います。



ヨガインストラクター 坂本 佳那さん

震災から8年が経ち、街の景色も変わってきました。ここからは心の復興が大事になってくると思いますが、子ども達一人一人の心と体のすこやかな健康そして保護者の皆様の心と体も選手達のパワーをいただいて、とても心にパワーが湧いたと思います。こんな素晴らしいイベントに参加させていただきありがとうございました。引き続き事後プログラムがありますが、自分の好きなことやできることに気づける場になってもらったら嬉しいです。

【本件に関するお問い合わせ先】

「すこやかカラダ大作戦」プロジェクト実行委員会（株式会社サニーサイドアップ内）
広報担当 鈴木洋平（070-1639-9611）、蓮田、保井
TEL: 03-6894-3251 / FAX: 03-5413-3050 / E-Mail: sukoyakarada@ssu.co.jp

<参考資料>

《都道府県別肥満傾向児の出現率》

東北3県（福島県・宮城県・岩手県）の肥満傾向児の出現率が、全国平均と震災前（平成22年度）の調査結果と比べて非常に高まっていることが学校保健統計調査の結果で分かっています。

（注）肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

単位 (%)

区分		小学校										中学校							
		6歳	全国 順位	7歳	全国 順位	8歳	全国 順位	9歳	全国 順位	10歳	全国 順位	11歳	全国 順位	12歳	全国 順位	13歳	全国 順位	14歳	全国 順位
平成30年度	全国	4.49		5.89		7.10		8.63		9.00		9.41		9.55		8.06		7.81	
	岩手	6.85	43	9.34	47	12.10	47	12.04	41	10.24	30	12.23	39	14.01	45	9.97	38	9.65	36
	宮城	6.84	42	8.22	43	8.97	37	10.41	33	11.71	43	12.01	42	12.19	41	9.57	35	11.07	43
	福島	6.65	39	8.11	42	10.53	42	12.67	44	11.43	40	12.45	38	13.94	44	9.48	34	10.82	40
平成29年度	全国	4.40		5.45		6.90		8.63		8.89		9.22		8.97		8.09		7.53	
	岩手	6.98	44	8.88	44	12.06	46	11.20	41	12.60	45	11.69	40	12.02	39	12.01	47	9.70	40
	宮城	7.87	47	7.71	41	9.71	40	10.69	40	11.56	40	12.22	42	12.13	40	8.68	29	7.92	23
	福島	6.06	39	9.03	45	12.67	47	12.19	44	16.42	47	15.23	47	12.42	43	11.73	46	10.78	45
平成28年度	全国	4.30		5.47		7.15		8.32		8.96		9.22		9.52		7.88		7.88	
	岩手	6.38	42	8.79	45	11.00	44	10.08	38	12.14	44	11.88	43	13.62	45	12.20	47	10.24	43
	宮城	7.23	45	6.08	32	11.64	45	12.13	44	12.67	46	14.16	46	13.98	47	12.14	46	9.84	39
	福島	7.04	44	8.76	44	11.75	46	12.03	43	15.50	47	13.42	45	13.97	46	10.66	42	10.84	46
平成27年度	全国	3.84		5.13		6.51		7.98		8.62		8.91		9.13		8.04		7.55	
	岩手	5.14	34	7.89	44	7.64	35	11.83	43	11.90	43	14.77	46	12.60	44	10.50	41	8.73	33
	宮城	4.78	29	7.52	42	9.34	44	9.57	33	10.20	36	14.22	44	12.37	41	10.27	39	9.60	40
	福島	6.46	46	6.16	32	8.42	41	12.84	46	12.76	46	10.49	36	12.51	43	11.11	45	10.39	45
平成26年度	全国	4.25		5.43		6.92		8.14		9.07		9.44		9.38		8.42		7.93	
	岩手	6.65	44	8.61	43	9.75	42	11.50	44	14.52	44	12.32	44	11.31	34	10.40	41	9.62	38
	宮城	7.69	46	9.05	46	11.62	46	11.48	43	15.15	47	12.30	43	12.76	44	11.33	45	10.35	44
	福島	7.87	47	9.64	47	10.65	45	15.07	47	12.17	41	14.43	47	14.46	47	14.43	47	10.07	43
平成25年度	全国	4.05		5.42		6.80		8.26		9.47		9.37		9.62		8.42		7.85	
	岩手	7.06	46	8.45	42	8.63	35	11.03	40	16.01	46	11.47	39	12.43	41	10.29	39	11.12	45
	宮城	6.39	43	7.11	39	9.63	42	11.42	42	13.29	43	10.92	36	14.20	47	11.53	45	10.27	42
	福島	7.63	47	8.82	45	11.71	47	12.76	46	16.66	47	14.01	46	13.70	46	13.31	47	11.96	46
平成24年度	全国	4.22		5.41		6.62		8.26		8.82		9.32		9.68		8.44		7.90	
	岩手	6.82	44	9.53	45	10.81	45	12.25	43	11.85	42	12.42	43	11.66	34	9.87	36	9.94	40
	宮城	5.41	35	7.13	37	8.95	40	12.29	44	14.17	47	14.97	47	13.00	45	10.33	41	10.57	43
	福島	9.73	47	9.89	47	13.47	47	13.97	47	14.01	46	14.53	46	12.41	43	9.66	32	11.47	47
平成23年度	全国	3.84		5.02		6.33		7.62		8.59		8.81		9.40		8.27		7.96	
	岩手	-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	宮城	-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	福島	-		-		-		-		-		-		-		-		-	
平成22年度	全国	4.34		5.38		7.05		8.30		9.28		9.98		9.98		8.70		8.65	
	岩手	7.13	43	9.56	44	10.99	45	12.01	43	13.40	45	15.35	47	12.20	36	8.74	22	10.59	37
	宮城	7.33	44	7.49	39	9.41	42	11.53	42	12.44	43	11.40	37	15.37	46	13.65	46	12.28	47
	福島	5.03	30	6.86	35	8.35	33	11.16	40	11.07	37	13.77	46	14.04	45	12.14	44	10.94	42

※平成23年度は岩手県、宮城県、福島県での調査は実施できておりません。

（出典：平成22~30年度 文部科学省 学校保健統計調査）

【本件に関するお問い合わせ先】

「すこやかカラダ大作戦」プロジェクト実行委員会（株式会社サニーサイドアップ内）

広報担当 鈴木洋平（070-1639-9611）、蓮田、保井

TEL: 03-6894-3251 / FAX: 03-5413-3050 / E-Mail: sukoyakarada@ssu.co.jp